

宮崎県感染症週報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和7年第5週の発生動向

トピックス

・インフルエンザ(定点把握対象の疾患)

インフルエンザの定点当たり報告数が6.1と前週の0.4倍に減少し、今シーズン流行期に入って初めて流行警報レベル終息基準値(10)を下回りました。詳細後述。

全数報告の感染症 (5週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：報告なし。

3類感染症：報告なし。4類感染症：つつが虫病2例。

5類感染症：劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、梅毒1例、百日咳15例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
4類	つつが虫病	宮崎市	60歳代	男	—	発熱、刺し口、発疹
		高千穂	70歳代	女	—	頭痛、発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹、消化器症状、血小板減少
5類	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	都城	80歳代	女	—	ショック、腎不全、DIC
	梅毒	宮崎市	10歳代	女	無症状病原体保有者	なし

	疾患名	報告保健所	報告数	年齢群			症状
				0~4歳	5~9歳	10歳代	
5類	百日咳	宮崎市	3例			3	持続する咳、夜間の咳き込み、呼吸苦、スタカート、ウープ、嘔吐
		都城	3例			3	
		延岡	2例		1	1	
		高鍋	5例		2	3	
		中央	2例	1		1	

定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は1,226人(定点当たり27.8)で、前週比75%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はインフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【インフルエンザ】

報告数は352人(6.1)で、前週比40%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(47.1)の約0.1倍であった。日南(12.6)、延岡(10.3)、日向(7.5)保健所からの報告が多く、年齢群別は15歳未満が全体の約7割を占めた。

【新型コロナウイルス感染症】

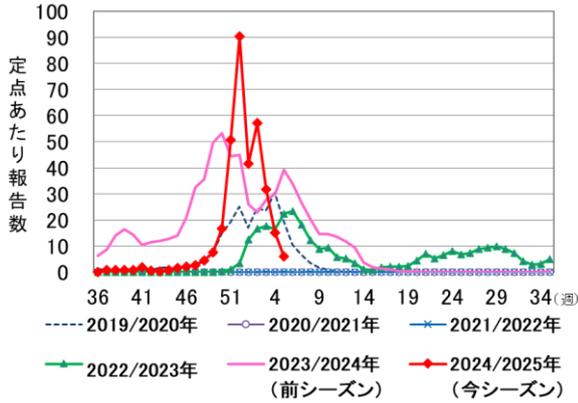
報告数は332人(5.7)で、前週比89%と減少した。高千穂(12.0)、延岡(10.7)、中央(6.5)保健所からの報告が多く、年齢群別は15歳未満が全体の約4割、60歳以上が全体の約2割を占めた。

【感染性胃腸炎】

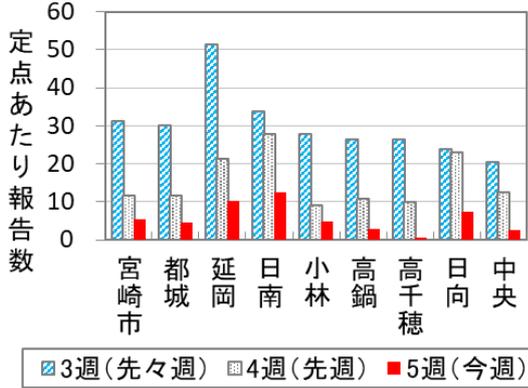
報告数は350人(9.7)で、前週比122%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(10.7)の約0.9倍であった。小林(22.7)、都城(12.2)、高鍋(10.8)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から4歳が全体の約4割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前5年間(2015-2019)の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

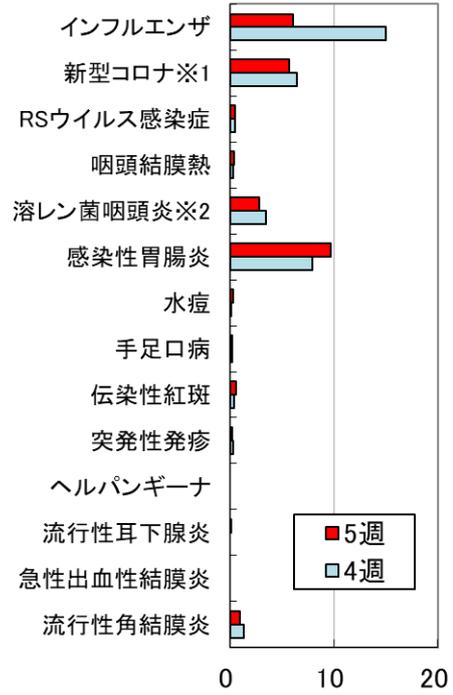
インフルエンザ 発生状況



インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



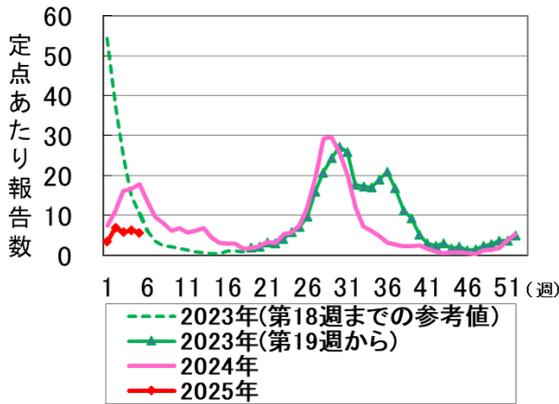
《前週との比較》



※1 新型コロナウイルス感染症

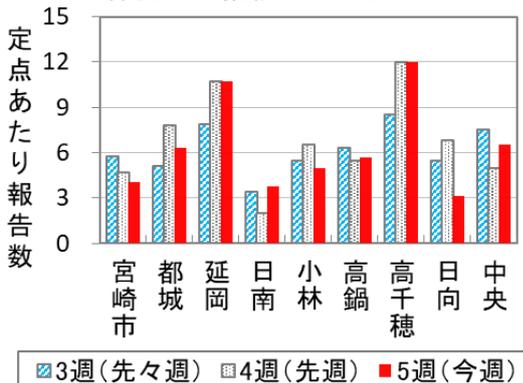
※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

新型コロナウイルス感染症 発生状況

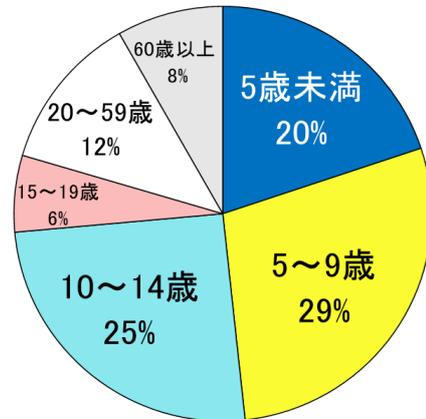


※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

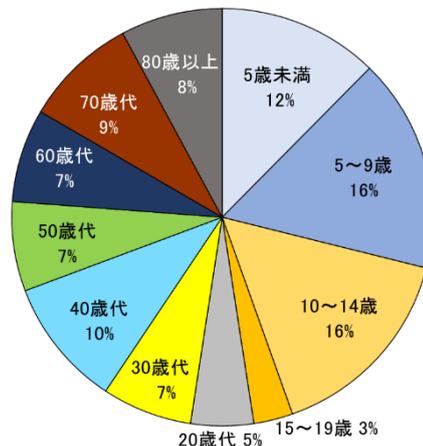
新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)

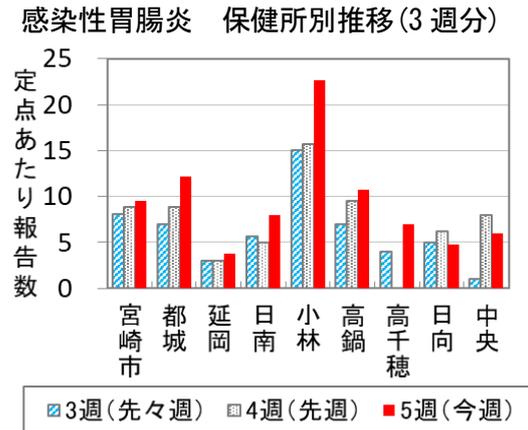
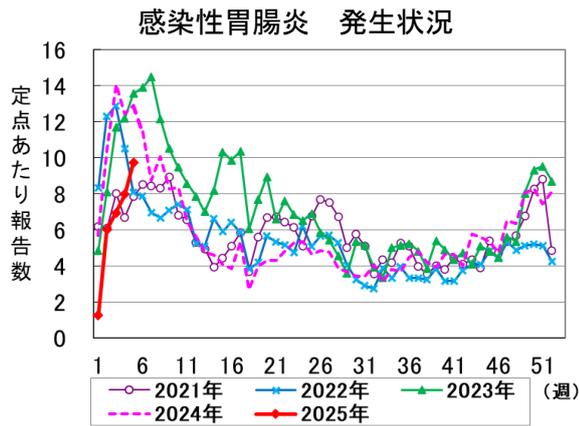


インフルエンザ年齢群別グラフ(第5週)



新型コロナウイルス感染症 年齢群別グラフ(第5週)





★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：報告数は1例(定点あたり0.1)で、前週比約0.2倍と減少した。宮崎市保健所から報告があった。年齢は0～4歳であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	インフルエンザ(10.3)、水痘(1.0)
日南	インフルエンザ(12.6)
小林	感染性胃腸炎(22.7)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

* 流行警報レベル開始基準値 *

・感染性胃腸炎(20)

* 流行注意報レベル基準値 *

・インフルエンザ(10)

・水痘(1)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和7年2月3日までに検出）

★細菌 報告なし

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
Adeno virus31	10歳代	男	2024.11.25	急性脳炎、発熱、頸部硬直、胃腸炎、意識障害、脊髄炎、嘔気	便	2025.01.24
Adeno virus31					咽頭ぬぐい液	
Human herpes virus6						
Human herpes virus7	10歳代	女	2024.11.25	急性気管支炎、39.2℃	鼻汁	2025.01.22
Influenza virus A H1pdm09	50歳代	男	2024.12.16	インフルエンザA型、38.0℃、関節痛、頭痛、咳、鼻水	鼻咽頭ぬぐい液	2025.01.21
Influenza virus A H1pdm09	5～9歳	男	2024.12.16	インフルエンザA型、38.6℃、下気道炎、気管支炎	鼻汁	2025.01.21
Influenza virus A H1pdm09	40歳代	女	2024.12.23	インフルエンザA型、39.0℃、咳、倦怠感、関節痛	鼻咽頭ぬぐい液	2025.01.21
Influenza virus A H1pdm09	5～9歳	女	2024.12.23	インフルエンザA型、39.0℃、咽頭炎、気管支炎	鼻汁	2025.01.21
Influenza virus A H1pdm09	40歳代	女	2025.01.04	インフルエンザA型、39.2℃、咽頭痛、関節痛、咳、鼻水	鼻咽頭ぬぐい液	2025.01.21

○11歳の男児より、Adeno virus31型が分離、検出された。Adeno virusは呼吸器疾患、眼科疾患の病原体として知られるが、小児における感染性胃腸炎の主要な病原体であり、胃腸炎では、31型、40型、41型が多く検出される。アデノウイルスによる感染性胃腸炎は、長期間にわたって下痢が続き、ウイルスの排出期間が長い。そのため、患者に接触した後の手洗いやマスク着用が重要となる。アデノウイルスはエンベロープを持たず、アルコール性消毒剤や界面活性剤への抵抗が強く、次亜塩素酸ナトリウムによる消毒が有効である。

🇯🇵 全国 2025 年第 4 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	196 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	30 例				
4類感染症	E型肝炎	8 例	A型肝炎	2 例	チクングニア熱	1 例
	つつが虫病	5 例	デング熱	3 例	レジオネラ症	40 例
5類感染症	アメーバ赤痢	8 例	ウイルス性肝炎	5 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	26 例
	急性脳炎	17 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	5 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	33 例
	後天性免疫不全症候群	15 例	ジアルジア症	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	13 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	3 例	侵襲性肺炎球菌感染症	86 例	水痘(入院例)	10 例
	梅毒	195 例	播種性クリプトコックス症	6 例	破傷風	2 例
	百日咳	195 例	麻しん	1 例		

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 87%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、RSウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はインフルエンザであった。

インフルエンザの報告数は 54,594 人(11.1)で前週比 60%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(39.5)の約 0.3 倍であった。山形県(25.3)、新潟県(20.6)、石川県(19.2)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 6 割を占めた。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 29,920 人(6.1)で前週比 108%と増加した。徳島県(9.6)、福島県(9.5)、宮城県(9.2)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満と 60 歳以上がそれぞれ全体の約 3 割ずつを占めた。

マイコプラズマ肺炎の報告数は 302 人(0.6)で前週比 74%と減少した。兵庫県(2.4)、福井県(2.0)、青森県(1.5)からの報告が多く、本県の定点当たり報告数は 0.9 であった。全国の年齢群別では 15 歳未満が全体の約 8 割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015-2019)の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2025年 第05週(01月27日～02月02日)

疾病名		第04週	第05週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	872	352	85	45	72	63	19	17	1	45	5
	定点当り	15.03	6.07	5.31	4.50	10.29	12.60	4.75	2.83	0.50	7.50	2.50
新型コロナウイルス感染症	報告数	372	332	65	63	75	19	20	34	24	19	13
	定点当り	6.41	5.72	4.06	6.30	10.71	3.80	5.00	5.67	12.00	3.17	6.50
RSウイルス感染症	報告数	17	17	6	2		2	1	2		2	2
	定点当り	0.47	0.47	0.60	0.33	0.00	0.67	0.33	0.50	0.00	0.50	2.00
咽頭結膜熱	報告数	12	16	12	1				2		1	
	定点当り	0.33	0.44	1.20	0.17	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	0.25	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	124	102	46	11	5	19		10	2	3	6
	定点当り	3.44	2.83	4.60	1.83	1.25	6.33	0.00	2.50	2.00	0.75	6.00
感染性胃腸炎	報告数	287	350	95	73	15	24	68	43	7	19	6
	定点当り	7.97	9.72	9.50	12.17	3.75	8.00	22.67	10.75	7.00	4.75	6.00
水痘	報告数	6	10	2		4	2		1		1	
	定点当り	0.17	0.28	0.20	0.00	1.00	0.67	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00
手足口病	報告数	9	8	5					2			1
	定点当り	0.25	0.22	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	1.00
伝染性紅斑	報告数	16	21	10	7	2	1				1	
	定点当り	0.44	0.58	1.00	1.17	0.50	0.33	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
突発性発しん	報告数	12	9	6					1	1	1	
	定点当り	0.33	0.25	0.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	1.00	0.25	0.00
ヘルパンギーナ	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数		2	2								
	定点当り	0.00	0.06	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	8	6	5		1						
	定点当り	1.33	1.00	1.67	0.00	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	6	1	1								
	定点当り	0.86	0.14	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	1										
	定点当り	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

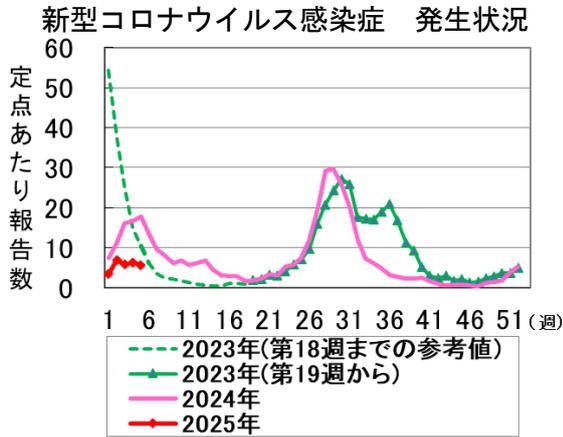
●全数把握対象疾患累積報告数(2025年 第1週～5週 保健所受理分)

2類感染症	結核	8例			
4類感染症	E型肝炎	1例	つつが虫病	4例(2)	
				レジオネラ症	2例
5類感染症	急性脳炎	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2例(1)	
	侵襲性肺炎球菌感染症	4例	梅毒	7例(1)	
	百日咳	36例(15)		後天性免疫不全症候群	1例
				破傷風	1例

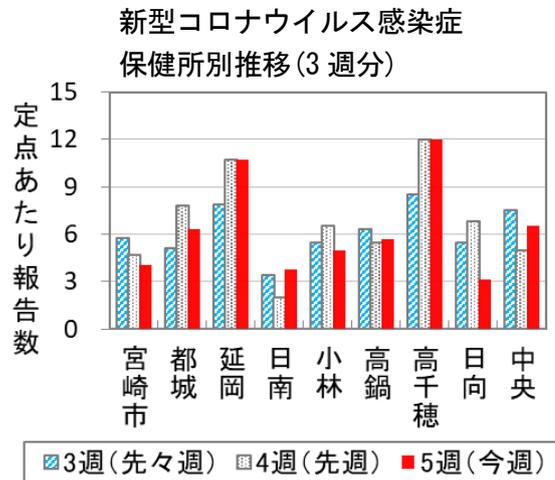
新型コロナウイルス感染症情報《県内第5週、全国第4週(再掲)》

□ 県内第5週 新型コロナウイルス感染症発生動向

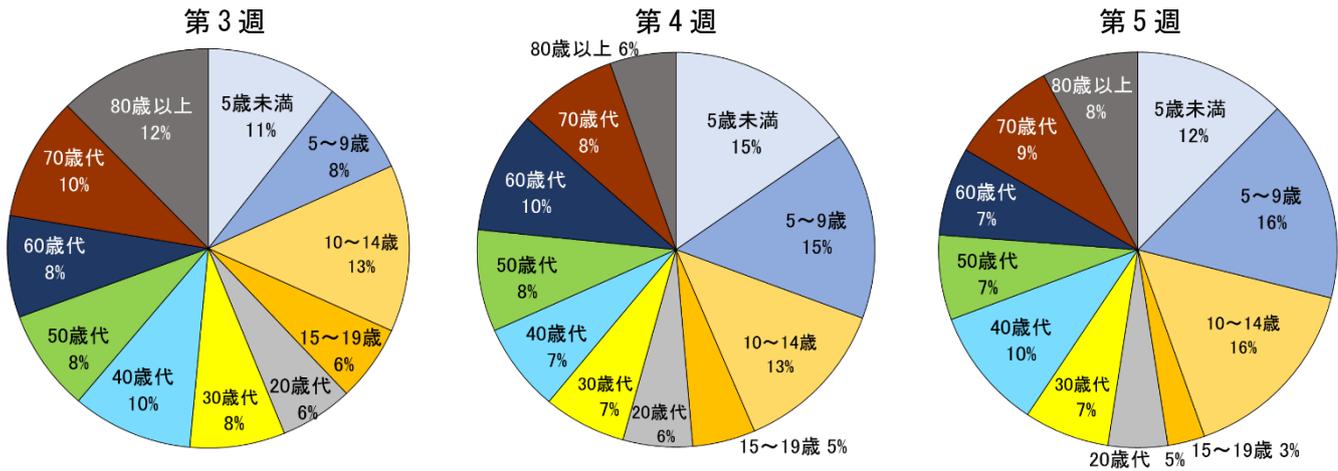
1月27日～2月2日までの1週間で332人(5.7)の報告があり、前週比89%と減少した。高千穂(12.0)、延岡(10.7)、中央(6.5)保健所管内からの報告が多かった。



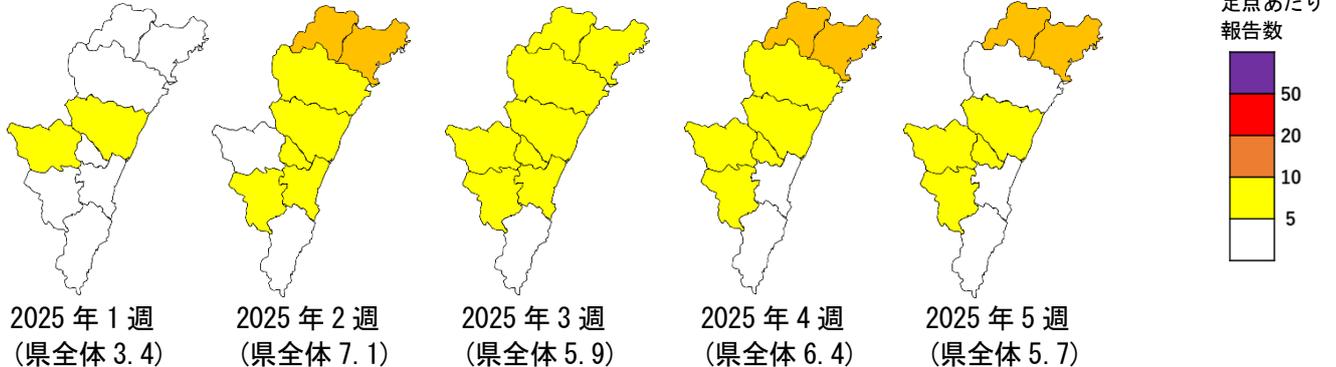
※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値



新型コロナウイルス感染症 年齢群別グラフ



保健所別新型コロナウイルス感染症流行マップ 2025年第1週～2025年第5週



* 県独自の基準によるもの

□ 全国第4週 新型コロナウイルス感染症発生動向

1月20日～1月26日までの1週間で29,920人(6.1)の報告があり、前週比108%と増加した。徳島県(9.6)、福島県(9.5)、宮城県(9.2)からの報告が多く、年齢群別では15歳未満と60歳以上がそれぞれ全体の約3割ずつを占めた。